

「噴火復興記念 洞爺湖マラソン2005」

五月晴れの洞爺湖畔で健脚競う



スタートを決める選手達

有 珠山噴火復興5周年記念大会として5月22日、「洞爺湖マラソン2005」(主催 蛇田町、壮瞥町、洞爺村、室蘭地方陸上競技協会、北海道新聞社など)が開催され、春の洞爺湖畔を舞台に健脚を競い合いました。

今年の大会参加者は、4、221人で、昨年の参加者を若感

下回りましたが、沖縄県など40都道府県から外国人を含む参加者がありました。

今年の最高年齢出場者は、男女とも5 kmにエントリーした、相馬正四さん(89)《室蘭バームスRC》と東京から参加した鈴木房江さん(79)。

当日は、青空が広がる晴天で、湖面の向こう側には残雪の羊蹄



3連覇を達成した平沢直樹さん

山が白く浮かびあがる最高のロケーションの中、親子2 kmを皮切りに洞爺湖マラソンがスタート。フルマラソン、10 km、5 kmと各々のランナーが、沿道の応援を背にして春の香りをいっぱい吸い込んで駆け抜けていきました。

マラソン男子は、今年3連覇がかかっていた平沢直樹さん(30)《埼玉・のり子大好き》が、2時間31分58秒のタイムで2位以下を大きく引き離し優勝。

「この大会まで調子が上がらず、3連覇は難しいと思った。昨年母が急死し、その母への感謝と今年結婚した妻への思いを優勝という形で示したかった」と平沢選手は優勝の気持ちを語りました。



5連覇を達成した太田尚子さん

同女子は、太田尚子さん(35)《苫小牧市・ナイアガラMC》が2時間56分43秒で、5年連続の優勝を達成。

途中体調を崩すアクシデントに見舞われながらも、今までの経験をいかし、5連覇の偉業を成し遂げました。

メイン会場では、先週から始まった観光朝市もこの日のために、時間を延長し営業。商工会、婦連協、蛇高生らの地場産品の直売や露店にも多くのマラソン参加者が立ち寄り、賑わいを見せていました。

また恒例の蛇田餅つきの会による餅つき囃子(ばやし)と餅まきも、表彰の合間に行われ、大好評を博していました。